

製 品 安 全 デ ー タ シ ー ト

平成18年 9月 6日改訂 平成21年 1月10日更新

1. 製造者情報

【会 社 名】株式会社 オーデック

【住 所】東京都大田区東馬込 2-19-10 第7下川ビル

【担当部門】化成品課

【電話番号】03-5718-7425 【FAX番号】03-5718-5426

【緊急連絡先】03-5718-7425

2. 製品名 テフルーブ

3. 製品仕様 エアゾール

4. 物質の特定

【単一製品・混合物の区別】 混合物

【化学名】石油ワックスのフッ素樹脂分散体と液化石油ガス(L.P.G)の混合物

【成分、含有量及びその他情報】

※1イソパラフィン 40-50%

【化学式又は構造式】 構造不明 【国連分類/国連番号】 非該当/非該当 【消防法】 第4類第4石油類

※2酸化ワックスのバリウム塩及びナトリウムスルフォネート 2-5%

【化学式又は構造式】 非公開 【官報公示整理番号】 化審法:3-1906, 3-1949, 8-415, 8-417 【国連分類/国連番号】 登録有り/非公開

【CAS】 登録有り/非公開 【消防法】 第4類第4石油類 【PRTR法】 第1種 No. 243該当

※3フッ素樹脂 (PTFE) 2-5%

【化学式】 $-(CF_2-CF_2)_n-$ 【官報公示番号】 化審法:6-939 【CAS】 9002-84-0 【国連分類/番号】 非該当

※4分散剤 1-2%

【化学式又は構造式】 - 【官報公示整理番号】 - 【CAS】 -

※5液化石油ガス (L.P.G) 45-55%

【化学式】 - 【官報公示番号】 化審法:対象外又は9-1697 【国連分類/番号】 クラス2 / 1075

5. 危険・有害性の分類

【分類の名称】 引火性液体及び高圧ガス

【危険性】 火災・爆発性 原料は引火性を有する液体であり、噴射剤に使用している
液化石油ガスは容易に爆発する。又、空気より重いため、低所に滞留する。

【有害性】 有毒性 蒸気を多量に吸入した場合呼吸困難を起こす事がある。

【環境影響】 有用な情報なし

6. 応急措置

【皮膚に付いた場合】 石けん水で十分に洗浄し、皮膚調整用クリームを塗布する。

【目に入った場合】 清浄水で15分以上洗眼し、刺激が残っていれば医師の診断を受ける。

【吸入した場合】 風通しの良い場所に移動し、新鮮な空気を吸わせる。

【誤飲した場合】 無理に吐かせずに、速やかに医師の診断を受ける。

7. 火災時の措置

【消火方法】 初期の火災には炭酸ガス、粉末などを用いる。水の使用は火災を拡大し危険な場合がある。大規模火災には泡消火剤を用いる。

【消火剤】 霧状の強化液、泡、炭酸ガス、粉末

8. 漏洩時の措置
- ・少量の場合には、ウェス等で拭き取り空き容器に回収する。
 - ・多量の場合には、土砂等で流れを止めると共に乾燥砂、土等に吸収させるなどして環境を汚染しないように処理する。

9. 取扱及び保管上の注意

【取扱】 ・吸い込んだり、眼、皮膚、及び衣類に触れないように適切な保護具を着用し、できるだけ風上から作業する。

- ・高温物、スパーク、火炎を避け、強酸化剤との接触を避ける。
- ・静電気対策を行い、作業衣、作業靴は導電性のものを用いる。
- ・使いきって捨てること。
- ・換気に注意して、有機ガス用防毒マスク等を着用する。
- ・小児の手の届かないところで取り扱うこと。

【保管】 ・直射日光を避け、温度が 40℃ 以上にならない場所に保管すること。

- ・火気、熱源より遠ざけ、可燃物を近くに置かない。
- ・長期間の保管を避ける。

10. 曝露防止措置

【管理濃度】 —

【許容濃度】

ACGIH (91年～92年) TLV-TWA	※2	液化石油ガス	鉱油ミスト
日本産業衛生学会勧告値(92年)	不明		5mg/m3 (Oil mist)
		1,000ppm	3mg/m3
OSHA PEL TWA	不明		

【保護具】 保護衣、保護メガネ、ゴム手袋、防毒マスク(有機ガス用)

11. 物理／化学的性質

【外観】 粘稠淡黄色液体 【臭い】 鉱物油臭 【比重】 0.88(20℃)*原液として 【引火点】 -102℃(密間)*LPG成分中のプロパンとして 【発火点】 データなし 【沸点】 データなし 【融点】 -187.8℃/atm *LPG成分中のプロパンとして

【蒸気圧】 データなし 【初留点】 データなし 【溶解度】 水に不溶 【エアゾール缶の製品圧力】 4.0±0.5

12. 危険性情報

【原液】 引火点 : 200 以上 発火点 : 不明
爆発限界(上限) : 7 % (下限) : 1 % (推定値)

	可燃性	: あり	発火性(自然発火性、水との反応性):	なし
	酸化性	: なし	自己反応性・爆発性	: なし
	加熱・燃焼	: 危険性有り(炭化水素の酸化物及び硫黄の酸化物が生成される)		
【噴射剤】	引火点	: -104.4℃	発火点	: 460～550℃
	爆発限界(上限)	: 9.5%	(下限)	: 2.2%
	可燃性	: あり	発火性(自然発火性、水との反応性):	なし
	酸化性	: なし		
	自己反応性・爆発性	: なし	粉じん爆発性	: なし
	安定性	: 良	反応性	: なし

13. 有害性情報

皮膚腐食性	: 長時間又は繰返し接触すると炎症を起こす場合がある。
刺激性(皮膚・眼)	: あり
感作性	: 無
急性毒性	: 経口 ラットLD50 5mg/kg(※1※2のデータ)
亜急性毒性	: 情報なし
慢性毒性	: 情報なし
癌原性	: Ethylene Oxid
変異原性(微生物、染色体異常)	: 情報なし
生殖毒性	: Ethylene Oxide
呼吸毒性	: ラット死亡及び有害な兆候無し
その他(水と反応して有害なガスを発生する等を含む):	無

14. 環境影響情報

分解性	: 測定データなし
蓄積性	: 測定データなし
BOD又はCOD	: 測定データなし
その他	: 有用な情報なし

15. 廃棄上の注意

事業者は産業廃棄物を自ら処理するか、または知事等の許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。

投棄禁止(法第16条, 政令第7条の4)

廃油の埋立処分を行う場合には、あらかじめ焼却設備を用いて焼却し、その燃えがらについては、下記の物質が総理府例で定めた基準以下であることを確認しなければならない。

銅又はその化合物、亜鉛又はその化合物、ふっ化物、アルキル水銀化合物、水銀又はその化合物、ひ素又はその化合物、六価クロム化合物、有機りん化合物、鉛又はその化合物、カドミウム又はその化合物、シアン化合物、P C B (政令第6条、総理府令)

燃焼する場合は、安全な場所で、かつ、燃焼又は爆発によって他に危害または損害を及ぼすおそれのない方法で行うとともに、見張り人をつけること。(危険物の規制に関する政令第27条など)

エアゾール缶としては、使いきって捨てること。

これを含む排水は油水分離、活性汚泥等の処理により清浄にしてからでないとは排出してはならない

廃棄時における関係法規 ◎廃棄物の処理及び清掃に関する法律(第2, 3, 10, 12, 16条など)
◎廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令(第1, 6, 7条など)
◎危険物の規制に関する政令(第27条など)
◎金属等を含む産業廃棄物に係わる判定基準を定める総理府令

16. 適用法令

- | | |
|------------|--|
| ・労働安全衛生法 | 施行令別表第1 危険物(可燃性ガス)*L.P.G |
| ・消防法 | 第四類第四石油類
第9条の2(貯蔵等の届出を要する物質政令【300L】)*L.P.G |
| ・高圧ガス取締り法 | 第2条(液化ガス)一般高圧ガス保安規則第2条(可燃性ガス)*L.P.G |
| ・航空法 | 施行規則第194条告示別表第2 高圧ガス D-旅客禁止*L.P.G |
| ・P R T R 法 | 第1種 No.243 該当物質 バリウム塩 【CAS】 非公開 含有量:1製品あたり8.4~21ml |

17. その他

- 文献：・危険物データブック : 消防庁警防研究会(昭和63年)
・産業中毒便覧
・12093の化学商品 : 化学工業日報社発行
・化学品安全管理データブック : 化学工業日報社発行
・適用法規総覧 : 化学工業日報社発行
・化学物質の発癌・変異原性データ集(昭和58年)
・『化学便覧基礎編』 : 日本化学会編

記載内容の問い合わせ先： 化成品課 TEL：03-5718-7425

製品安全データシートは、危険有害な化学製品について、安全な取り扱いを確保するための参考情報として、取り扱う事業者提供されるものです。取り扱う事業者は、これを参考として、自らの責任において、個々の取り扱い等の実態に応じた適切な処置を講ずることが必要であることを理解した上で、活用されるようお願い申し上げます。

従って、本データシートそのものは、安全の保証書ではありません。